

平和祈念展示資料の記録・保存等に関する検討会資料
平成 20 年 7 月 7 日

姫路市平和資料館

1. 設置理念

姫路市では、先の大戦でなくなられた方々を慰霊するとともに平和都市宣言・非核平和都市宣言を行い、平和施策を推進してきた。しかし、戦後 60 年以上を経た昨今、人々の記憶から悲惨な戦争と戦災体験が消えつつある。現在そして未来の平和は、過去の戦争とそれに伴う悲惨な事実に対する正しい理解と認識並びに全世界の人々との相互信頼のうえに成り立つものであり、歴史的事実を伝え続けていくことは、平和を維持していくために極めて重要である。

このようなことから戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝え、平和な社会の発展に寄与するため、空襲に視点を置いた資料館を、「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」に隣接して設置している。

2. 基本的な性格及び事業

(1) 空襲体験の継承の場として

姫路の空襲による被災等に関する資料、文書、映像等を主体とした展示をする。

(2) 平和に関する学習・教育の場として

平和教育の場としてこの施設の活用を図るとともに、戦争の悲惨さと平和の尊さについて啓発する施設とする。

(3) 調査・研究機能の場として

展示と資料収集や学習指導などを充実させるための調査・研究機能を整備する。

3. 施設の概要

(1) 所在地 兵庫県姫路市西延末 475 番地（手柄山山上）

(2)開館年月日 平成8年4月26日

(3)規模・構造

・構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建

・敷地面積 1,716㎡

・延床面積 1,139㎡

(4)建設事業費 約65,000千円

(5)管理運営 姫路市

(6)施設の内容

・1階 図書室、常設展示室、ビデオコーナー、管理施設

・2階 多目的展示室、ホール、収蔵庫 等

(7)開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

(8)休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、休日の翌日、12月28日～1月5日

(9)入館料 一般200円、小中学生50円(20人以上の団体は2割引)

4. 特別企画展等の開催(平成19年度)

(1) 春季企画展の開催	4/6(金)～7/1(日) 「子どもたちが記録した『日常』」 ～戦時下の小学生日記から～
(2) 姫路市非核平和展の開催	7/15(日)～8/31(金) 「非核平和展」
(3) 秋季企画展の開催	10/5(金)～12/24(月) 「『学び』を奪った戦争」
(4) 収蔵品展の開催	1/16(水)～3/23(日) 「戦時下を語る資料たち」

その他 教育委員会主催による「中学校平和作品展」、民間グループによる平和講演会など

5. 空襲体験の記録・啓蒙

(1)姫路空襲体験談、被爆体験談を聞く会の開催

(2)空襲体験記の朗読会の開催

(3)空襲体験談の録画記録の作成

6. 収蔵資料⇒市民等からの寄贈資料を中心として

- | | |
|--------------------|---------|
| (1)現物資料 | 6,607 点 |
| (2)写真パネルなど | 201 点 |
| (3)図書などの資料 | 2,612 点 |
| (4)ビデオテープ・DVD・CDなど | 228 点 |

計 9,648 点 (未整理資料を除く、平成19年12月末現在)

7. 資料コーナー

図書、ビデオ等の閲覧室を設置。自由に閲覧、ビデオ等の視聴。

8. 運営

(1)展示は、資料展示パネル説明さらに、音と光、床振動、スモークを駆使したジオラマと映像の構成による空襲擬似体験コーナーからなっており、説明員の常駐はない。

(2)団体、グループ来館時には、職員が案内、説明を行う

(3)データベースの構築

① 収蔵資料は、写真を付した紙台帳を整備し、パソコンによるリストを作成しているが、デジタルアーカイブスには至っていない。

② webでのホームページでは、写真と動画による資料館展示の案内、企画展、イベントの紹介をしている。データベースの公開は未整備である。

9. 来館者増対策

(1)学校の平和学習の場としてのPRを進めるとともに、慰霊塔と一体のものとして、平和アピールの空間として、祈りの場として、市民交流の場として、さらに観光スポットとしてのポテンシャルを高めるべく市全体で取り組んでいる。

(2) 若い世代へのアピール

資料館単独の事業としてではなく、隣接の慰霊塔を含めたエリアを平和アピールの空間として全市で取り組んでいる。

⇒若者を中心としたパフォーマンスイベント、世界音楽祭の開催など

10. 入館者数の推移

(単位；人)

平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
27,257	24,523	25,189	21,140	28,879	24,422
平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
22,231	18,199	17,316	22,099	19,790	19,090

【注】慰霊塔＝「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」

太平洋戦争中の空爆その他による犠牲者で、軍人軍属以外の50万9,700余の死没者を供養し、その霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を祈念するため、昭和31年10月26日に建立された。

この慰霊塔は、塔身、前室及び前垂、側柱から構成され、前垂には日本地図に113戦災都市(1都、99市、13町)の位置が、側柱には1本毎に戦災都市の被爆年月日、死没者数、罹災人口及び歴代復興担当市長名が刻んである。

また、塔は高さ26.75メートルで、その形は刀を地中に突き立てた形で「もう戦争はしない」ということを表現している。

姫路市平和資料館はこの慰霊塔に隣接して建てられたものである。

◎ 平和資料館の外観



※ 手前の建物は「姫路市平和資料館」

※ 後方に見える塔が「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」

※ 山全体が「手柄山中央公園」という都市公園になっており、慰霊塔は、その山頂(標高50メートル)に立っている。

※背景には姫路市街地と、姫路城を望む。